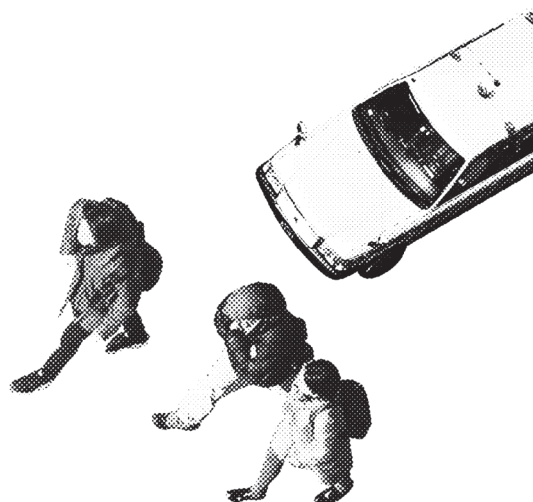




電子キーボード

PSS-A50

取扱説明書



ご使用の前に必ず2～5ページの「安全上のご注意」をお読みください。

保証書付 裏表紙にあります

JA

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。



警告

電源



禁止

USB ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、USBケーブルに重いものをのせない。

USBケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



禁止

付属の USB ケーブルをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

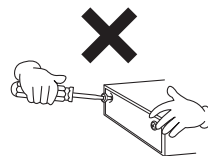
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

医療用電気機器への影響



禁止

医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。

心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15cm以内で使用しない。

本体に内蔵されている磁石の磁気により、動作に影響を与えるおそれがあります。

電池



禁止

電池を分解しない。

電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



禁止

電池を火の中に入れない。

破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。



禁止

電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。

電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



禁止

指定(13ページ)以外の電池を使用しない。

火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。

種類やメーカー、品番の異なる電池を一緒に使用したり、新しい電池と古い電池を一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。

電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。



禁止

電池は子供の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

異常に気づいたら



電源プラグを抜く

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・ ケーブル/プラグがいたんだ場合
- ・ 製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・ 製品の内部に異物が入った場合
- ・ 使用中に音が出なくなった場合
- ・ 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

注意

電源



必ず実行

USB電源アダプターは、必ず指定のもの（7ページ）を使用する。

異なったUSB電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、USBケーブルを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

USBケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ずUSBケーブルなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

電源プラグを使用する場合は、電源プラグは見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々けがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。

聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⓪](スタンバイ / オン) スイッチを切った状態 (画面表示が消えている) でも微電流が流れています。[⓪] (スタンバイ / オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

DMI-7 4/4

注記（ご使用上の注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- ・ 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- ・ 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/ 変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- ・ 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/ 変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- ・ この楽器の一部のデータ(13ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ・ ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
 - ※上記コンテンツとは、コンピュータプログラム、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
 - ※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品の外観について

- ・ 製品に線やキズのように見える場合があります。これはケースを成型する際に現れる線(ウエルドライン)であり、ヒビやキズではありません。製品の使用上まったく問題ありません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Macは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

このたびは、ヤマハ電子キーボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この楽器は、鍵盤初心者の方でも、エンターテインメント性の高い演奏を気軽にお楽しみいただける電子キーボードです。この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

取扱説明書について

この楽器には、この取扱説明書のほかに以下の電子マニュアルが用意されています。



MIDIリファレンス

この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。

上記のマニュアルは、ヤマハの下記ウェブサイトからご覧いただけます。

サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support>

付属品 (お確かめください)

- ・ 取扱説明書(本書) x 1
- ・ USBケーブル x 1
- ・ 製品登録のご案内 x 1

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

電源の準備

本製品の電源は以下の3つの中から選択することができます。お使いになる状況に応じてそれぞれの接続例に従って準備してください。

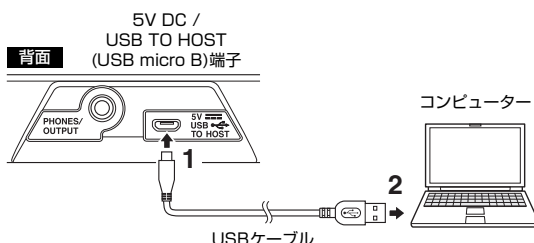
本製品にはUSB電源アダプター、USBモバイルバッテリー、電池は付属しておりません。別途お買い求めください。

1 USB バスパワーを使用する場合

USBバスパワー

USBケーブル経由でコンピューターから電源供給を受けることができます。

図の順序で付属品のUSBケーブルを接続します。



USBケーブルを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

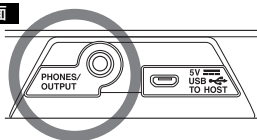
PHONES/OUTPUT端子



注意

- ・ 耳を守るため、ヘッドホンを使う前に、必ず楽器の音量を最小にし、演奏しながら徐々に音量を上げてください。

背面



ヘッドホン(ステレオミニプラグ)やアンプ内蔵スピーカーなどの外部機器を接続します。これらの外部機器を接続すると、この楽器のオーディオ音声を外部機器で鳴らすことができます。また、自動的にこの楽器のスピーカーからは音が出なくなります。



注意

- ・ 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- ・ 外部機器を接続するときは、必ず楽器と機器の音量を最小にし、一旦すべての電源を切ってから行なってください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

注記

- ・ 楽器本体の音を外部機器に出力するときは、外部機器の損傷を防ぐため、電源を入れるときは、楽器→外部機器の順に、電源を切るときは、外部機器→楽器の順に行なってください。

注記

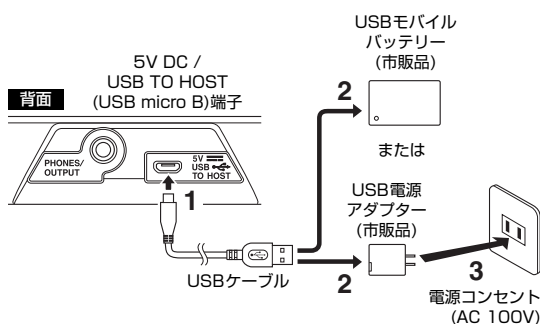
- USBケーブルは3m未満のものをお使いください。
ぶつぶつ音切れる場合は、付属のUSBケーブルをご使用いただくか、音量を下げてください。

NOTE

- 電池を本体にセットしても、USBケーブルが本体に接続されていると、USBケーブルから電源が供給されます。

2 USB電源アダプターまたはUSBモバイルバッテリーを使用する場合

図の順序で付属品のUSBケーブルと、別売りのUSB電源アダプターまたはUSBモバイルバッテリーを接続します。



接続したUSBケーブルなどを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

使用可能なUSB電源アダプター / USBモバイルバッテリー

- 出力電圧 4.8 V ~ 5.2 V
- 出力電流 0.5 A以上

⚠ 注意

- 必ずUSB規格に適合し、電源供給ができるものをお使いください。異なったUSB電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。接続について詳しくは、お使いになるUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリーなどの取扱説明書をご覧ください。

注記

- USBモバイルバッテリーによっては、この楽器のように消費電流が少ない機器と接続すると、自動的に電力供給を停止するものがあります。USBモバイルバッテリーは、低電流モードなどを備え、消費電流40mA以下の機器にも給電できるものをお使いください。
- 電源をオンにしてすぐに切れたりする場合は、お使いのUSB電源アダプターが上記要件を満たしていないか、壊れている可能性があります。要件を満たしているほかのUSB電源アダプターでお試しください。それでも動作しない場合は、販売店、または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

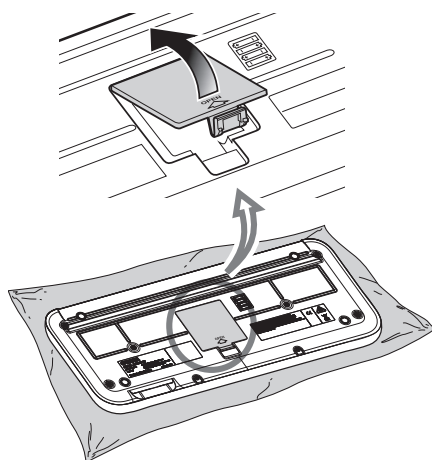
3 電池を使用する場合

単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、および充電式ニッケル水素電池(充電池)が使えます。使い方により大きな電力を消費する場合があるので、アルカリ乾電池または充電池のご使用をおすすめします。

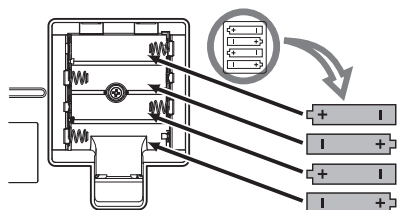
⚠ 警告

- 安全上のご注意(2~5ページ)の「電池」の注意事項をお読みください。

- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 本製品を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。



- 3 電池4本を入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 4 電池カバーを閉めます。

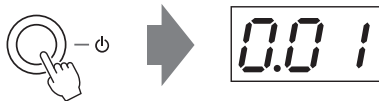
注記

- お使いの電池の種類に合わせて、本製品の設定を切り替えてください(12ページ)。電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早め、使用可能時間が短くなります。
- 電池がセットされ電源が入っているときに、USBケーブルを抜き差ししないでください。電源が一時的に切れて録音中のデータが失われる可能性がありますので、ご注意ください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します。



画面が表示されます。

電源を切る

[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを1秒間押します。

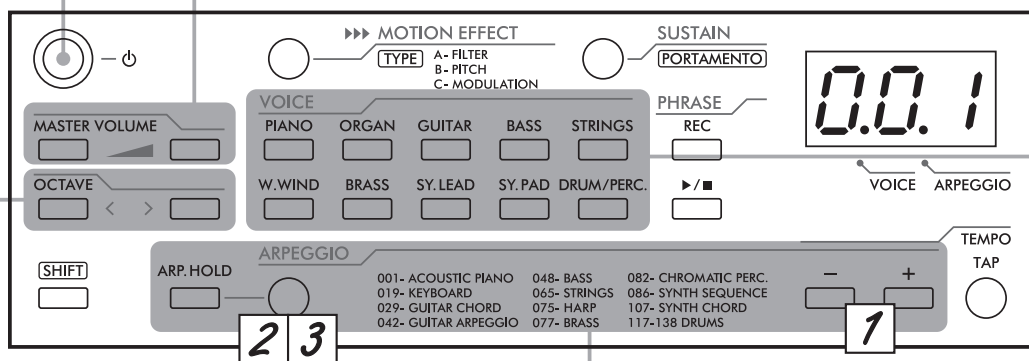
音量を調節する



音量は00～15まで設定できます。(初期値13)

NOTE

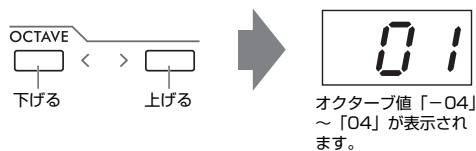
- 音量は、初期化(13ページ)すると初期値13にリセットされます。



オクターブシフト

鍵盤の音の高さをオクターブ単位で上げ下げできます。

高さを変える



NOTE

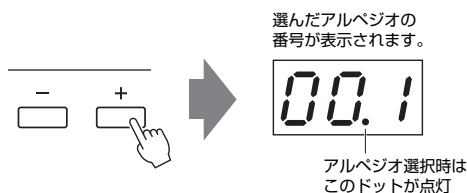
- オクターブ値を初期値00にリセットしたいときは、OCTAVEボタン2つを同時に押します。
- オクターブ設定を-03や-04あるいは+03, +04にしたときに音色によっては音が聞こえにくかったり、オクターブ上(下)の鍵盤と音の高さが同じ場合があります。

アルペジオ

鍵盤を押さえるだけでさまざまなフレーズやバックングパターンが自動的に演奏される機能です。

1 アルペジオタイプを選ぶ

[−]と[+]ボタンで選びます。

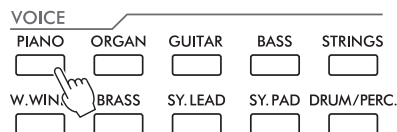


NOTE

- パネルのアルペジオカテゴリーリストをご参照ください。
- 数字を早く進めたいときは[−]や[+]ボタンを押したままにします。[SHIFT]ボタンを押したまま、[−]や[+]ボタンを押すたびに、アルペジオカテゴリーの各先頭にジャンプします。
- 117～138番はドラムパターンです。ドラムキットボイスでホールドするとリズムトラックになります。
- ボイスを選ぶと、ボイスに最適なアルペジオタイプが自動で選ばれます。

鍵盤の音(ボイス)を選ぶ

VOICE(ボイス)ボタン



選んだボイスの番号が表示されます。

ボイス選択時はこのドットが点灯

さまざまな楽器音色がカテゴリーごとにボタンに入っています。同じボタンを続けて押すと、そのボタン(カテゴリー)内のボイスを順番に選べます。

NOTE

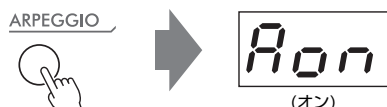
- ボイス名は14ページで確認できます。
- [DRUM/PERC.]ボタンの中にあるドラムキット(039、040)を選ぶと各鍵盤で異なる打楽器音が鳴るので、ドラム演奏ができます。各鍵盤にどの音が割り当てられているかについては15ページで確認できます。

音量が小さい、またはまったく音が出ないときは下記をお試しください。

- 音量を上げる。
- ヘッドホンなど外部機器をPHONES/OUTPUT端子から抜く。
- ローカルコントロールをオンにする(12ページ)。
- 新しい乾電池または充電した電池と交換する。
- オクターブシフトを初期値00に戻す。

2 アルペジオを鳴らす

[ARPEGGIO] ボタンを押します。

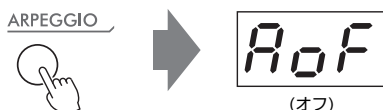


鍵盤を押さえてアルペジオを鳴らしましょう。



3 アルペジオをオフにする

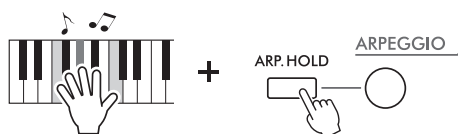
[ARPEGGIO] ボタンを押します。



アルペジオをホールドする

鍵盤から指を離してもアルペジオが繰り返し鳴り続ける機能です。ここに手弾き演奏を重ねられます。

アルペジオを鳴らしたまま、[ARP. HOLD] ボタンを押す



ホールドを解除したいときは[ARP. HOLD] ボタンをもう一度押します。

NOTE

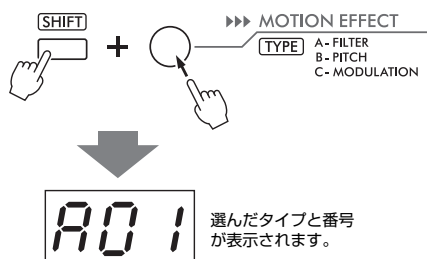
- ホールド中にアルペジオのフレーズを変えたいときは、[ARP. HOLD] ボタンを押したまま鍵盤を押さえます。
- ホールドを解除すると、ホールド中に設定した音色はホールド前の音色に戻ります。

モーションエフェクト

[MOTION EFFECT]ボタンを押しているあいだ、手弾きに動的なエフェクトをかけることができます。エフェクトはA、B、Cの3タイプあり、Aは音の明るさ、Bは音の高さ、Cは音のゆれなどを時間経過とともに変化させます。各タイプ10個前後のバリエーションがあります。

好みの効果を選ぶ

[SHIFT]ボタンを押したまま、[MOTION EFFECT]ボタンを押すたびにエフェクトのタイプと番号が切り替わります。



NOTE

- A、B、C各タイプの先頭にジャンプしたいときは、[SHIFT]ボタンを押したまま、[MOTION EFFECT]も押したままにします。
- ボイス、オクターブ、タイプの組み合わせによっては、ノイズが出る場合があります。

[SHIFT] ボタン

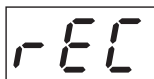
- 楽器のさまざまな機能を設定します (12ページ：鍵盤設定一覧)
- 四角で囲まれた機能を選ぶときに使います。(モーションエフェクトの [TYPE]、[PORTAMENTO])

録音/再生

手軽にフレーズを録音できます。録音できるフレーズは1つのため、前に録音されたフレーズは消去されます。

1 録音スタンバイ

[REC]ボタンを押す

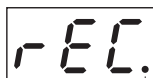


(録音スタンバイ)

録音スタンバイを解除するには、もう一度 [REC]を押してください。

2 録音スタート

鍵盤を弾くと同時に録音スタート



(ドット点滅=拍)

▶/■ ボタンを押しても録音スタートできません。

3 録音ストップ

[REC]を押す

4 再生する

▶/■ ボタンを押す

フレーズの拍子

リピート再生(11ページ)にしたいフレーズは、録音スタンバイ中(r-EL表示)に拍子を設定してください。リピートは小節単位ですので、拍子に合わせて録音しないと、リピート時に間が空く場合があります。拍子は「メトロノーム」(12ページ)で設定します(初期設定は4/4)。メトロノームを鳴らしながら録音することもできますが、メトロノームの音は録音されません。

NOTE

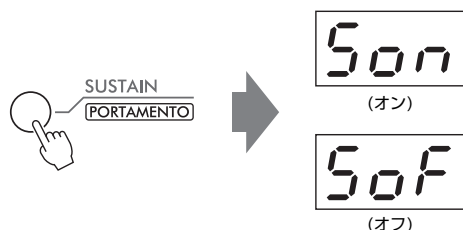
- 録音中に録音容量がいっぱいになった場合は、画面に「Full」が表示され、録音を終了します。
- 録音したフレーズは、4拍子のフレーズなら4回、3拍子なら3回、[TEMPO/TAP]ボタンをたたくとそのテンポで再生開始します。

サステイン

演奏音にサステイン(余韻)がつきます。

サステインをオン/オフする

[SUSTAIN]ボタンを押すたびにオンまたはオフになります。

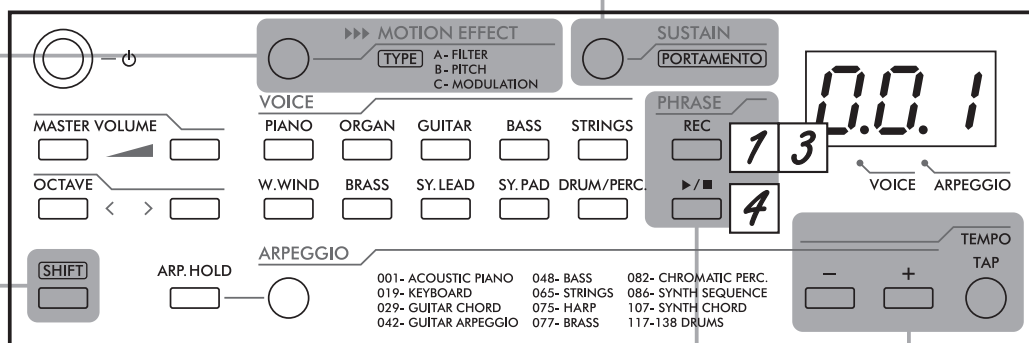
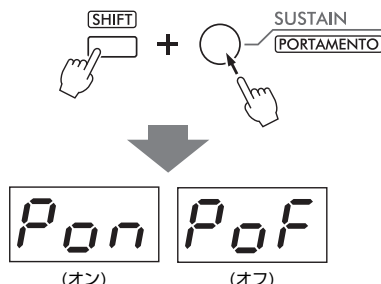


ポルタメント

2音間の音程をなめらかにつなぎます。

ポルタメントをオン/オフする

[SHIFT]ボタンを押したまま、[SUSTAIN]ボタンを押すたびにオンまたはオフになります。



録音フレーズを削除する

RECボタン→[▶/■]ボタン→[▶/■]ボタンの順に押します。

リピート再生

録音したフレーズを繰り返し再生します。

[SHIFT]ボタンを押したまま[▶/■]ボタンを押します。

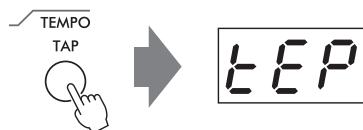
NOTE

- アルペジオと手弾き演奏を数小節録音してリピート再生し、さらに手弾き演奏を重ねてみましょう。
- リピート再生2回目以降は音色などが録音開始時と異なることがあります。これは録音中に変更した最後の設定を使って2回目以降の再生を行うためです。

テンポ

録音フレーズ、アルペジオ、モーションエフェクト、メトロノームの再生テンポを設定できます。

[TEMPO/TAP]ボタンを押します。

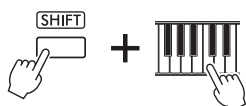


「tEP」かテンポが表示されているあいだに[-]や[+]ボタンで設定してください。

NOTE

- 数字を早く進めたいときは[-]や[+]ボタンを押したままにします。
- [-]と[+]ボタンを同時押しするとテンポは120にリセットされます。
- フレーズとメトロノームは、再生中に好きなスピードで2回タップしてテンポを変えることができます。

鍵盤設定一覧



この楽器のいろいろな設定ができます。[SHIFT]ボタンを押したまま、設定したい機能名が印刷された鍵盤を1つ押します。押すたびにオン/オフが切り替わります。値を変更したいときは「+」「-」の鍵盤、初期設定の値(下線表示)に戻したいときは「初期設定」の鍵盤を押します。

・()は画面表示です。

トランスポーズ(移調) / チューニング

トランスポーズ(TRANPOSE)

楽器の音の高さを半音単位で上げ下げします。

設定: -12 ~ 00 ~ 12

チューニング(TUNING)

楽器全体の音の高さを約0.2Hz単位で微調整します。

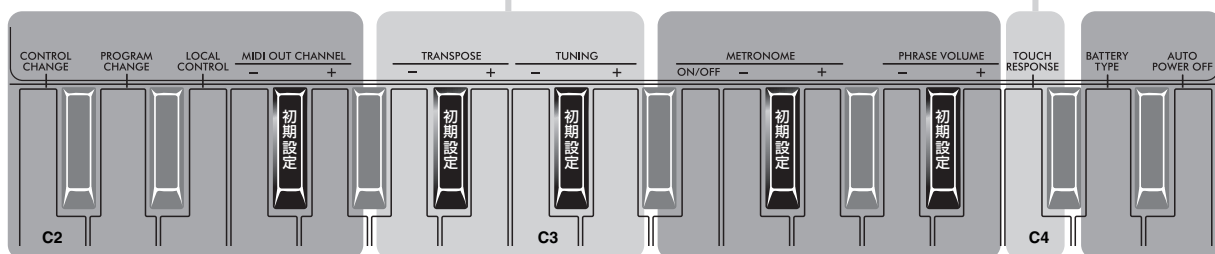
設定: 427.0 ~ 440.0 ~ 453.0 Hz (画面表示 270 ~ 400 ~ 530)

タッチレスポンス

鍵盤を弾く強さに対する音の強弱の付きかた(タッチ感度)を変更します。

設定: 1 / 2 / 3 / oFF

- 1 : 軽いタッチで大きい音が出ます。
 - 2 : 標準的なタッチ感度です。
 - 3 : 強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。
- oFF: タッチの強弱にかかわらず一定の音量が出ます。



MIDI設定

コントロールチェンジ (CONTROL CHANGE)

設定: オン/オフ (LoN / LoF)

プログラムチェンジ (PROGRAM CHANGE)

設定: オン/オフ (ProN / ProF)

ローカルコントロール (LOCAL CONTROL)

設定: オン/オフ (LoN / LoF)

MIDI送信チャンネル (MIDI OUT CHANNEL)

設定: 01 ~ 16、oFF

コンピューターとMIDIをやり取りするときに必要な応じて設定します。機能の詳細説明についてはウェブサイト上のMIDIリファレンスをご覧ください。(本書6ページ参照)

メトロノーム / フレーズ音量

メトロノーム オン/オフ (METRONOME ON/OFF)

メトロノームをオン(on)/オフ(oFF)します。速さはテンポで設定します(11ページ)。

設定: on / oFF

メトロノーム拍子 (METRONOME -+)

メトロノームの拍子と録音フレーズの拍子(10ページ)を設定します。4/4拍子は04、3/4拍子は03を設定します。

設定: 00 ~ 04 ~ 16

録音フレーズ / メトロノームの音量 (PHRASE VOLUME)

録音フレーズとメトロノームの音量を調節します。

設定: 00 ~ 12 ~ 15

便利な設定

電池タイプ (BATTERY TYPE)

使用する電池の種類に合わせて設定します。アルカリ乾電池とマンガン乾電池はAL、充電電池はnlです。

設定: AL / nl

オートパワーオフ (AUTO POWER OFF)

自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。オフ「oFF」に設定すると、この機能は無効になります。

設定: oFF / 005 / 010 / 015 / 030 / 060 / 120 分

MIDIで音楽制作を楽しむ

この楽器とコンピューターを付属品のUSBケーブルで接続すると、この楽器の演奏をコンピューター上の音楽制作用ソフトにMIDI曲として録音したり、データ打ち込み用のマスターキーボードとして使うことができます。MIDIを使うと、楽器を使った音楽制作の可能性が広がります。MIDIについてはヤマハサイト上の「MIDI入門」をご参照ください。

対応OS

- Windows7、8.1、10
- Mac OSX 10.12、10.13、10.14

注記

- コンピューターとの接続前に、ウェブサイト上のMIDIリファレンスに掲載の「USB TO HOST端子ご使用時の注意」をお読みください。(本書6ページ参照)

- 1 必要に応じて、ローカルコントロール(12ページ：MIDI設定)をオフにします。

注記

- ローカルコントロールをオフにすると、楽器から音が出なくなります。

- 2 付属品のUSBケーブルを使ってこの楽器とコンピューターを接続します。(6ページ：USBバスパワーを使用する場合)

NOTE

- コンピューターでこの楽器が認識されない場合は、以下のサイトのヤマハUSB-MIDI Driverをダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。
<http://download.yamaha.com/jp/>

- 3 音楽制作用ソフトを録音状態にし、この楽器を演奏します。

NOTE

- 演奏の送信チャンネルを設定できます。詳細はウェブサイト上のMIDIリファレンスをご覧ください。(本書6ページ参照)
- 録音フレーズを再生するとMIDI送信されます。
- ペロシティ 127が出にくいときは、タッチレスポンスの設定を1に変えてください。

困ったときは

症状	対策
音が出ない、音が小さい、音が途切れる	7ページと9ページの「グレー」の記載をご確認ください。

仕様一覧

品名	電子キーボード
鍵盤	37 HQ (High Quality) Mini鍵盤
タッチ感度	ソフト、ミディアム、ハード、フィックス
ボイス	40音色 + 2ドラムキット 最大同時発音数：32
オクターブボタン	○ (−04〜+04)
アルペジオ	138種類
効果	モーションエフェクト、ポルタメント、サステイン
ファンクション	メトロノーム：○、テンポ：11〜280、トランスポーズ：−12〜+12、チューニング：427.0〜440.0〜453.0 Hz (約0.2 Hz単位)
録音(MIDI) *オーディオファイル非対応	・録音フレーズ数：1(約700音符 *モーションエフェクトなどの効果を使用した場合、音符数はこれより少なくなります。)
ディスプレイ	7セグメントLED
接続端子	ヘッドホン/外部出力(ステレオミニ)、5V DC/USB TO HOST (USB micro B)
アンプ出力	1.4W
スピーカー	8cm × 1
電源	・USBバスパワー 5V/500mA ・USB電源アダプター 5V/500mA ・単3電池(アルカリ乾電池/マンガン乾電池/充電式ニッケル水素電池) × 4
消費電力	1.5W
電池寿命	アルカリ乾電池：約18時間 充電式ニッケル水素電池：約15時間
オートパワーオフ	○
寸法 (幅×奥行き×高さ)	506mm × 201mm × 54mm
質量	1.2kg (電池含まず)
付属品	取扱説明書(本書)、USBケーブル、製品登録のご案内
別売品	ヘッドホン (HPH-50/HPH-100/HPH-150)

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

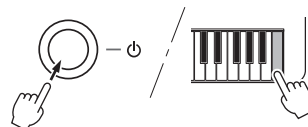
バックアップ

以下の項目は電源を切っても保存されます。録音フレーズ、全体音量、鍵盤設定一覧(タッチレスポンス、オートパワーオフ、チューニング、電池タイプ、コントロールチェンジ、プログラムチェンジ、MIDI送信チャンネル)

*電源アダプターを引き抜いたり、乾電池が消耗して電源が切れたときはバックアップされません。

初期化

バックアップデータを初期化します。右端の鍵盤を押したまま電源を入れます。「[CLR]」と表示されます。



ボイスリスト

ボイス 番号	MSB (0-127)	LSB (0-127)	MIDI Program Change No. (1-128)	ボイス名
ピアノ				
1	0	0	1	グランドピアノ
2	0	0	5	エレクトリックピアノ 1
3	0	0	6	エレクトリックピアノ 2
4	0	0	3	エレクトリックグランドピアノ
オルガン				
5	0	0	17	ドローパーオルガン
6	0	0	19	ロックオルガン
7	0	0	22	アコーディオン
8	0	0	23	ハーモニカ
ギター				
9	0	0	25	ナイロン弦ギター
10	0	0	26	スチール弦ギター
11	0	0	27	ジャズギター
12	0	0	28	クリーンギター
13	0	0	30	オーバードライブギター
ベース				
14	0	0	33	アコースティックベース
15	0	0	34	フィンガーベース
16	0	0	37	スラップベース
17	0	0	39	シンセベース
ストリングス				
18	0	0	49	ストリングス
19	0	0	46	ピチカートストリングス
20	0	0	41	バイオリン
21	0	0	43	チェロ
22	0	0	47	ハープ
ウッドウインド				
23	0	0	69	オーボエ
24	0	0	72	クラリネット
25	0	0	74	フルート
26	0	0	67	テナーサックス
ブラス				
27	0	0	62	ブラスセクション
28	0	0	57	トランペット
29	0	0	58	トロンボーン
30	0	0	61	フレンチホルン
31	0	0	63	シンセブラス
シンセリード				
32	0	0	83	ジェミニ
33	0	0	85	パンチーコース
34	0	0	81	スクエアリード
35	0	0	82	ソートゥースリード
シンセパッド				
36	0	0	89	ニューエイジパッド
37	0	0	90	ウォームパッド
38	0	0	101	ブライトネス
ドラムキット/パーカッション				
39	127	0	1	スタンダードキット
40	127	0	28	ダンスキット
41	0	0	12	ビブラフォン
42	0	0	13	マリンバ

最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は32音ですが、アルペジオや録音したフレーズの再生などを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、アルペジオや録音フレーズの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先*で発音します。

* 後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、あとから送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

NOTE

- MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo.を使用してください。
- MIDIプログラムチェンジNo.を0～127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた値で指定します。たとえば、39の値を指定する場合は、1を引いて38の値をセットします。

ドラムキットリスト

- ・各パーカッション音の使用発音数は1です。
- ・この楽器の鍵盤 (Keyboard) のNote No.とNoteは、MIDIのNote No.とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキットの「スネアタイト (Note No.52/Note E2)」をこの楽器で鳴らす場合は、MIDI Note No.40/Note E1 をこの楽器に送信します。

ボイス番号				39	40
MSB (0-127) / LSB (0-127) / PC (1-128)				127/000/001	127/000/28
Keyboard		MIDI		スタンダードキット	ダンスキット
Note#	Note	Note#	Note		
25	C# 0	13	C# -1	スルドミュート	スルドミュート
26	D 0	14	D -1	スルドオープン	スルドオープン
27	D# 0	15	D# -1	ハイキュー	ハイキュー
28	E 0	16	E -1	ウィップスラップ	ウィップスラップ
29	F 0	17	F -1	スクラッチ H	スクラッチ H
30	F# 0	18	F# -1	スクラッチ L	スクラッチ L
31	G 0	19	G -1	フィンガースナップ	フィンガースナップ
32	G# 0	20	G# -1	クリックノイズ	クリックノイズ
33	A 0	21	A -1	メトロノームクリック	メトロノームクリック
34	A# 0	22	A# -1	メトロノームベル	メトロノームベル
35	B 0	23	B -1	シーククリック L	シーククリック L
36	C 1	24	C 0	シーククリック H	シーククリック H
37	C# 1	25	C# 0	ブラッシュタップ	ブラッシュタップ
38	D 1	26	D 0	ブラッシュスワール	ブラッシュスワール
39	D# 1	27	D# 0	ブラッシュスラップ	ブラッシュスラップ
40	E 1	28	E 0	ブラッシュタップスワール	リバーシシナバル
41	F 1	29	F 0	スネアロール	スネアロール
42	F# 1	30	F# 0	カスターネット	ハイキュー 2
43	G 1	31	G 0	スネアソフト	スネアテクノ
44	G# 1	32	G# 0	スティックス	スティックス
45	A 1	33	A 0	バスドラムソフト	キックテクノ Q
46	A# 1	34	A# 0	オープンリムショット	リムゲート
47	B 1	35	B 0	バスドラムハード	キックテクノ L
48	C 2	36	C 1	バスドラム	キックテクノ
49	C# 2	37	C# 1	サイドスティック	サイドスティックアナログ
50	D 2	38	D 1	スネア	スネアクラップ
51	D# 2	39	D# 1	ハンドクラップ	ハンドクラップ
52	E 2	40	E 1	スネアタイト	スネアドライ
53	F 2	41	F 1	フロアタム L	タムアナログ 1
54	F# 2	42	F# 1	ハイハットクローズ	ハイハットクローズアナログ 1
55	G 2	43	G 1	フロアタム H	タムアナログ 2
56	G# 2	44	G# 1	ハイハットペダル	ハイハットクローズアナログ 2
57	A 2	45	A 1	ロータム	タムアナログ 3
58	A# 2	46	A# 1	ハイハットオープン	ハイハットオープンアナログ
59	B 2	47	B 1	ミッドタム L	タムアナログ 4
60	C 3	48	C 2	ミッドタム H	タムアナログ 5
61	C# 3	49	C# 2	クラッシュシンバル 1	シンバルアナログ
62	D 3	50	D 2	ハイタム	タムアナログ 6
63	D# 3	51	D# 2	ライドシンバル 1	ライドシンバル 1
64	E 3	52	E 2	チャイニーズシンバル	チャイニーズシンバル
65	F 3	53	F 2	ライドシンバルカップ	ライドシンバルカップ
66	F# 3	54	F# 2	タンバリン	タンバリン
67	G 3	55	G 2	スブラッシュシンバル	スブラッシュシンバル
68	G# 3	56	G# 2	カウベル	カウベルアナログ
69	A 3	57	A 2	クラッシュシンバル 2	クラッシュシンバル 2
70	A# 3	58	A# 2	ビブラスラップ	ビブラスラップ
71	B 3	59	B 2	ライドシンバル 2	ライドシンバル 2
72	C 4	60	C 3	ボンゴ H	ボンゴ H
73	C# 4	61	C# 3	ボンゴ L	ボンゴ L
74	D 4	62	D 3	コンガ H ミュート	コンガアナログ H
75	D# 4	63	D# 3	コンガ H オープン	コンガアナログ M
76	E 4	64	E 3	コンガ L	コンガアナログ L
77	F 4	65	F 3	ティンパレス H	ティンパレス H
78	F# 4	66	F# 3	ティンパレス L	ティンパレス L
79	G 4	67	G 3	アゴゴ H	アゴゴ H
80	G# 4	68	G# 3	アゴゴ L	アゴゴ L
81	A 4	69	A 3	カバサ	カバサ
82	A# 4	70	A# 3	マラカス	マラカス 2
83	B 4	71	B 3	サンバホイッスル H	サンバホイッスル H
84	C 5	72	C 4	サンバホイッスル L	サンバホイッスル L
85	C# 5	73	C# 4	ギロショート	ギロショート
86	D 5	74	D 4	ギロロング	ギロロング
87	D# 5	75	D# 4	クラベス	クラベス 2
88	E 5	76	E 4	ウッドブロック H	ウッドブロック H
89	F 5	77	F 4	ウッドブロック L	ウッドブロック L
90	F# 5	78	F# 4	クイーカミュート	スクラッチ H
91	G 5	79	G 4	クイーカオープン	スクラッチ L
92	G# 5	80	G# 4	トライアングルミュート	トライアングルミュート
93	A 5	81	A 4	トライアングルオープン	トライアングルオープン
94	A# 5	82	A# 4	シェイカー	シェイカー
95	B 5	83	B 4	ジングルベル	ジングルベル
96	C 6	84	C 5	ベルツリー	ベルツリー

アルペジオリスト

No.	タイプ名
ACOUSTIC PIANO	
1	PfArp1
2	PfArp2
3	PfArp3
4	PfArp4
5	PfClub1
6	PfClub2
7	PfBallad
8	PfChd8th
9	PfShuffle
10	PfRock
11	RocknPf
12	70RockPf
13	SlowflPf
14	SoulPf
15	LatinRck
16	Salsa1
17	Salsa2
18	6/8R&B
KEYBOARD	
19	EPArp
20	BalladEP
21	ChordUp
22	ChdDance
23	Clavi1
24	Clavi2
25	Gospel
26	Reggae1
27	Reggae2
28	Reggae3
GUITAR CHORD	
29	Strum1
30	Strum2
31	Strum3
32	Strum4
33	Funky
34	GtrChrd1
35	GtrChrd2
36	GtrChrd3
37	CleanGtr
38	Samba1
39	Samba2
40	Spanish1
41	Spanish2
GUITAR ARPEGGIO	
42	Pickin1
43	Pickin2
44	GtrArp
45	FngrPck1
46	FngrPck2
47	Slowfl
BASS	
48	FngrBas1

No.	タイプ名
49	FngrBas2
50	FngrBas3
51	CoolFunk
52	SlapBass
53	AcidBas1
54	AcidBas2
55	FunkyBas
56	CmbJazB1
57	CmbJazB2
58	CmbJazB3
59	NewR&BBs
60	HipHopBs
61	SmoothBs
62	DreamBas
63	TranceBs
64	LatinBas
STRINGS	
65	Strings1
66	Strings2
67	Strings3
68	Strings4
69	StrngDwn
70	StrngUp
71	OrcheStr
72	Jupiter
73	Pizz1
74	Pizz2
HARP	
75	Harp1
76	Harp2
BRASS	
77	BrasSec1
78	BrasSec2
79	BrasSec3
80	FunkBras
81	SoulReed
CHROMATIC PERC.	
82	PercArp
83	Trill
84	Cresendo
85	DiscoCP
SYNTH SEQUENCE	
86	UpOct
87	DownOct
88	UpDwnOct
89	SynArp1
90	SynArp2
91	SynArp3
92	SynArp4
93	SyncEcho
94	PulsLine
95	StepLine
96	Random

No.	タイプ名
97	Down&Up
98	SuperArp
99	AcidLine
100	TekEcho
101	VelGruv
102	Planet
103	Trance1
104	Trance2
105	Trance3
106	DiscoLd
SYNTH CHORD	
107	ChordAlt
108	SynChrd1
109	SynChrd2
110	Syncopa
111	Hybrid1
112	Hybrid2
113	Hybrid3
114	Hybrid4
115	Hybrid5
116	SmoothPd
DRUMS	
117	Funk1
118	Funk2
119	Funk3
120	Soul
121	ClscHip
122	Smooth
123	NewGospl
124	CmbJazz1
125	Bebop
126	JazzHop
127	FolkRock
128	Unpluggd
129	Dream
130	2 Step
131	ClubHs1
132	ClubHs2
133	House
134	Ibiza2
135	Ibiza3
136	Garage
137	Samba
138	African

NOTE

- 117～138番のアルペジオタイプを演奏するときは、No.39/スタンダードキットまたはNo.40/ダンスキットを音色として選択してください。

モーションエフェクトリスト

No.	タイプ名
A FILTER	
A01	Filter 1
A02	Filter 2
A03	Filter Wah
A04	Filter 3
A05	Filter 4
A06	Filter 5
A07	Filter 6
A08	Filter 7
A09	Filter + Modulation 1
A10	Filter + Modulation 2
B PITCH	
B01	Pitch Whole-Note Up
B02	Pitch Half-Note Up
B03	Pitch Whole-Note Down
B04	Pitch Half-Note Down
B05	Choking Up
B06	Choking Down
B07	Pitch Down 1
B08	Pitch Down 2
B09	Pitch Up 1
B10	Pitch Up 2
B11	Pitch Up + Modulation
B12	Pitch Up 3
C MODULATION	
C01	Modulation On 1
C02	Modulation On 2
C03	Pitch Up + Modulation On 1
C04	Pitch Up + Modulation On 2
C05	Expression Slice 1
C06	Expression Slice 2
C07	Expression Slice + Filter 1
C08	Expression Slice + Filter 2
C09	Pitch Up + Expression Slice 1
C10	Pitch Up + Expression Slice 2
C11	Pitch Up + Expression Slice 3
C12	Pitch Up + Expression Slice 4

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本製品には保証書が付いています。
「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-012-808

ナビダイヤル®

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830 へおかけください。

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125

西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

◆修理品お持込み窓口

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F

FAX 06-6649-9340

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

◆本製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-006-808

ナビダイヤル®

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-5272 へおかけください。

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

<https://jp.yamaha.com/support/>

◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社のホームページ	https://jp.yamaha.com/
ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト	https://jp.yamaha.com/kbd/
ヤマハ サポート・お問い合わせ	https://jp.yamaha.com/support/
ヤマハミュージックデータショップ	https://yamahamusicdata.jp

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

※都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



[持込修理用]

ヤマハ 電子キーボード保証書

MODEL PSS-A50

この度はヤマハ 電子キーボードをお買い上げいただきましてありがとうございました。
本書は下記の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買い上げの日から右記期間中に万一故障が発生した場合は製品に本書を添えて
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご住所	□□□-□□□□
電 話	— —
お名前	殿

* この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、
本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用いたします。

修理ご相談センター



0570-012-808

ナビダイヤル® ※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

※上記番号でつながらない場合は 053-460-4830 へおかけください。
受付時間: 月～金 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定休日を除く)

製造番号		
お買い上げ日	年	月 日
保証期間	本体	お買い上げの日から一年間
販売店名		
(所在地)		
(電 話)	(扱者名)	

株式会社ヤマハミュージックジャパン

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

保証規定

保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、無料修理致します。

●保証書のご使用法

- 保証期間内に万一本製品が故障した場合には、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。

●保証期間中でも次の場合は有料となります。

- 納品後、輸送・移動時のお取扱いが適当でないために生じた故障・損害の場合。
- 取扱説明書に記載の注意事項に反するお取扱いによって発生した故障の場合。
- 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- 塗装面及び金属面が経年変化により退色、変色した場合。
- 弊社関係のサービスマン以外の方が修理・改造された部分で、その修理改造が不適当であった場合。
- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災及び公害や電圧異状による故障、損傷の場合。
- 鼠害、塩害等による故障、損傷の場合。
- 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
あるいは字句を書替えられた場合。
- 本書のない場合。又、ご提示のない場合。
- お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

●転居の場合等

- 転居、ご贈答品等で、本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。
- 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合に於ても、残存期間は保証致します。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only within Japan.)
- 保証期間の1年が過ぎましても、サービスは有料にて責任を持って実施させていただきます。
- 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店もしくはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

© 2019 Yamaha Corporation

2022年8月 発行 POIN-E0

VAV7260